

～【お気楽文庫®】が届ける高齢者施設の新しい豊かさ～ 「群」から「個」へ！

コロナ下で変わり始めた高齢者施設サービス！

2021年10月6日

株式会社DFB

『自分にあった本は、生きる力を育む』をコンセプトに選書ギフト事業及び電子書籍及び書籍の製造・販売を展開する株式会社DFB（所在地：三重県伊勢市/代表取締役：谷口 とよ美）の法人向けサービス、**高齢者施設向け【お気楽文庫®】へ、全国より注文が殺到しています。**アフターコロナのサービスの在り方を見据えた企業・施設が、動き始めています。

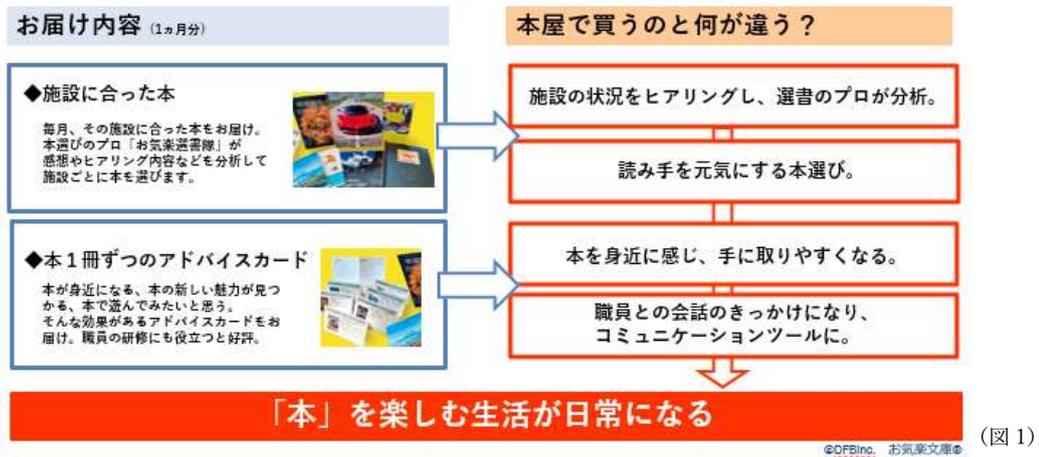
同社のサービスは、施設ごとの特性に合わせた最適な本を選び（適書）、使い方などのアドバイスカードを本に添えてお届けする日本初のサービスです。（ビジネスモデル特許出願中）

●【戦略的活用】今が“好機”と、先を見据えた企業・施設が動き始めた！

この1年半の間、感染予防のために、サービスの制限を余儀なくされてきた高齢者施設。そんな中、【お気楽文庫®】の注文が急増しています。

どの高齢者施設も、ワクチン接種が進み少し落ち着いてきたところ。「**ここでスタートダッシュをきり、施設の差別化を図りたい。**このままでは、施設のサービス低下、利用者の満足度低下が著しく手遅れになってしまう。かと言って、今まで通りのレクリエーションやサービスでは不十分。**他社との差別化を図るには今がチャンスだと思っている。」**

【お気楽文庫®】の評判を聞いた企業・施設が、次のステップに進む突破口、キラーコンテンツとして導入されるケースが急増、大手新聞社にお気楽文庫®の導入事例を掲載されるなど、全国的に注目されています。



(図1)

<まずは、お問い合わせから>

<https://www.dfbooks.co.jp/okiraku>

●【意外な副次効果】お気楽文庫®が高齢者とその家族を繋げる

感染予防のため面会禁止など、運営会社も心苦しい対策をせざるを得ない状況が続き、コロナで家族と引き離された高齢者がお気楽文庫®をきっかけに、家族との繋がりができたケースもあります。

積和グランドマスト株式会社様

① サービス付き高齢者向け住宅（埼玉県）

「ご家族が住宅に来られた際に、お気楽文庫®の本を手に取り、「この本は素晴らしい」と言われ、その後自分で買って家で読んでいるという方がいた。」

② サービス付き高齢者向け住宅（東京都）

「届いた本を気に入られたご入居者が、お孫さん用にご自分で購入し、プレゼントされたと言われていた。ご入居者だけでなく、ご家族にまで広がっていて、驚いている。」

●【導入効果】お気楽文庫®の効果が、高齢者施設の新しい豊かさへ

高齢者施設で「自宅に帰りたい」と言われる方のほとんどが、「孤独感」「不安感」「つまらない」などの理由をあげるようです。そのネガティブな感情がコロナで一層加速される一方で、お気楽文庫®の導入施設では、入居者満足度が向上、認知症や心のケアに繋がっています。

① 入居者満足度アップ（QOL向上）

- ・有料老人ホーム（神奈川県）

「お気楽文庫®をラウンジで読んだり、借りたりするために、皆さん**部屋から出てくるようになった。**」

- ・有料老人ホーム（兵庫県）

「読書習慣の全くなかった人が本を読むようになり、**本を読む人のすそ野が広がってきた。**」

「気軽に本を読む人が増えた。本への壁がなくなった。」

- ・有料老人ホーム（埼玉県）

「これまで施設の図書コーナーには、一部の人しか来なかったが、お気楽文庫®がきっかけで、

普段来なかった方が来るようになり、本のセンスがいい！と喜ばれている。」

② 認知症進行緩和

- ・認知症専門グループホーム（神奈川県）

「導入して2か月で、軽症フロアの入居者が、みなさん毎日本を見るようになった。

毎月のリクエストも当たり前になっている。」

- ・デイサービス（東京都）

「徘徊をしていた利用者が、席にじっと座り真剣にお気楽文庫®の本を読むようになった。

お気楽文庫®のコーナーの前にイスを置くと、自らそこに座り、本を読むようになった。」

- ・デイサービス（静岡県）

「ネガティブな思考をする傾向のある利用者が、ある本を一生懸命に読み、「何事も悪い面ばかり考えず、自然体で取り組んでいきたい」と感想まで書いてくれた。」

③ 新規利用者獲得

- ・デイサービス（大阪府）

「施設見学のご夫婦が、お気楽文庫®を見て、懐かしそうに昔の話をしていました。帰り際にご主人があの本良かった、と言われた。その後、お二人で登録され、いつもお気楽文庫®の本を楽しんでいる。」

- ・有料老人ホーム（福岡県）

「お気楽文庫®を施設の差別化の目玉として導入。導入して1か月で、別のフロアからもお気楽文庫®のコーナーに人が集まるようになった。」

●会社概要

『自分にあった本は、生きる力を育む』をコンセプトに選書ギフト及び電子書籍及び書籍の製造・販売事業を展開。個人・法人向け絵本選書サービス「コウノトリブックス®」や高齢者向け選書サービス「紙飛行機」、高齢者施設向け選書サービス「お気楽文庫®」にて、一人ひとりの個性に合わせ能力を育む本や人生を豊かにする本を選び提供する「選書&使い方のアドバイス」を行う会社。

社名 : 株式会社 DFB

代表者 : 谷口 とよ美

所在地 : 三重県伊勢市岡本2丁目11-28-3106

事業内容 : 本の小売及び、電子書籍及び書籍の製造・販売・選書&アドバイスサービス等

HP : <https://www.dfbooks.co.jp/>

●株式会社 DFB 代表 谷口とよ美 プロフィール

株式会社DFB代表 適書アドバイザー

乳幼児から高齢者まで最適の本を選び抜く。

人はそれぞれ個性があり、一人ひとりに必要な本があります。

人を見て、そのとき、その人に必要な最適な本を選ぶ。

適書を選ぶことを、一貫して仕事として取り組んできました。

26年間に亘る学校図書館の業務で、生徒一人ひとりの個性に合った適書との出会いをつくる。
その経験を活かし、日本初の学校図書館の総合プロデュースを行う企業を創設。
手掛けた学校は延べ4000校以上にもわたる。
また、公共図書館の設計から蔵書の選書まで数多く手掛ける「本選びのプロ」

《受賞歴》

第一回日本サービス大賞 地方創生大臣賞

日本女性起業家大賞 最優秀賞

日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」リーダー部門賞 など